

もえぎ

水月秋葉さん書

I 2

Vol33I

2019/12.15



医療法人社団萌気会
在宅療養支援診療所 (二日町)
在宅療養支援有床診療所 (浦佐)



国営越後丘陵公園ウィンターイルミネーション

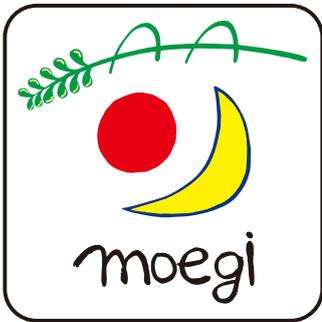
- 2P…萌気園二日町診療所に
クマの親子訪問
 - 3P…コム・ソフィ&ナース
開所1年を迎えて
 - 4P…萌気会2019年1年間のあゆみ
 - 5P…お出かけリハビリ
 - 6P…魚沼マルシェがやってくる
 - 7P…うちの利用者さん
 - 8P…すみれ草の風景
- ※12月号漫画は休載いたします。



12月22日(日)
びしゃもん茶房
(10時~12時)



もえぎデスカフェ
第2回 浦佐普光寺
法話 普光寺住職
お勤め 樺澤賢正氏
テーマ あわい
『生と死の間』
~それぞれの思いを
お茶を飲みながら気軽に
話しませんか?~
12月21日(土) 参加費無料
14:00開始 15:00終了
普光寺(越後毘沙門堂内)
問い合わせ 医療法人社団萌気会
☎: 025-781-6155 ☎: 070-4350-9909
事務局 上村



萌気園二日町診療所に クマの親子来訪 ～ 実況報告 ～

萌気園浦佐診療所 院長
黒岩 巖 志



365日無休の萌気園二日町診療所は、12月8日の日曜日も普段通りにオープン。その日の出番だった私は朝8:30から診療を開始した。8:45、職員が電話で話す声が聞こえた。「職員が診療所の床下倉庫にクマらしき動くものを発見した。確認が必要」と。確認といっても・・・もしクマなら近寄るのは危険である。直ぐに警察、市役所に現場確認の依頼をした。床下倉庫は一部カーテンのような布で仕切られていて容易に侵入できる構造である。

患者がどんどん診療所に入ってきており、また診察後の患者は外へ出ていく。警察、市職員が来るまで当院職員が患者に付き添い誘導することにした。

倉庫を確認したところ2頭のクマが眠っている。直ぐに当院駐車場入口が警察により封鎖され午前10:30には新たな患者の来院は出来なくなった。クマは眠っている・・・当院で冬眠を始めた？そんなに居心地のいい場所が床下倉庫にあったのか？と私は思った。

萌気園二日町診療所には二つの介護サービス事業所が同じ建物の中に併設されておりその日もデイサービス利用者が大勢来ていたが皆帰宅してもらった。

病気で苦しむ患者、見てくれる家族がいないデイサービスの利用者、また周辺住民にとっては迷惑な状況である。

クマを生け捕りするために麻酔業者を呼ぶとのこと。この地域に猟友会の方は居るが、麻酔業者は新潟県内に1人も居ない。群馬県高崎市から麻酔業者が当院に着いたのは午後3時過ぎ。麻酔針は3発中1発が1頭に当たったが眠らない。この時3頭目の子クマが居ることが判明。花火での追い出しも試みたが不発。日が暮れ安全に捕獲作業ができないとの判断で翌朝6:30から捕獲再開の方針となった。

翌朝6:30、市、県、警察、麻酔業者、猟友会が当院に集合し作戦会議。7:00に先ずは大声を出したり棒でつついたり追い出しを試みたところ、3頭とも外に出てきた。猟友会員に向かってきたため散弾銃を発砲したが当たらず3頭とも倉庫に

戻ってしまった。捕獲作業中は交通規制を敷かなければならず朝の出勤時間帯は作業を休止し、10:00に麻酔銃を母クマに放ったところ命中。11:30に母クマの睡眠状態を確認し4人がかりで檻に運んだ。2頭の子クマは麻酔無しで猟師が手づかみで檻に入れた。この際子クマが猟師の足に咬みついたが大丈夫だった。診療所は同日夕方から診療を再開した。

3頭のクマは自然保護団体「日本熊森(くまもり)協会」に引き渡され新潟県三条市内で冬眠し来春どこかの山に帰される予定となった。

クマ、人間とも死傷者はせずハッピーエンドといい結末となった。

このクマ騒動は、全国ニュースとなり日本中に萌気園二日町診療所が放映された。恐らく多くの人が、「クマが冬眠の場に選ぶほど居心地の良い診療所」と当院をとらえてくれたのではないかと思います。

クマを生かすか殺すかの判断は当然私にはできないが、地域住民の命を守るためには殺すこともやむを得ないことだと考えていた。今は、冬眠に訪れただけの親子クマを殺すなんて人間の身勝手だと思えるし、もし散弾銃の当たりどころが悪く殺してしまったなら萌気園二日町診療所は残酷で身勝手な人間社会の象徴となっただろう。

最後に、クマが当院で発見された日の深夜12時にスノータイヤに交換し兵庫県から車で遠路遙々不眠不休で当院まで来てクマ3頭の保護に尽力された日本熊森協会の方々、そして2日間に渡りクマ捕獲に尽力した猟友会・麻酔業者・県市職員・警察の方々に敬意を表する。

母クマは覚醒後与えられたドングリを狂ったように食べたとのこと。冬眠のための食糧が山に無かったのである。



Com・philosophy & Nurse

コム・ソフィ&ナース



開所 1 年を迎えて

看護小規模多機能型居宅介護かんたき萌気

コム・ソフィ&ナース 管理者 若井 実栄治

「かんたき萌気コム・ソフィ&ナース」は各関係者様や地域の皆様等お蔭様で開所から無事1年が経ちました。ソフィは“哲学”という意味で、考える事、語る事を大切にして運営してきました。哲学（人生）語る会は今年度3回行い、3回目からは利用者さんも参加して頂き、大変すばらしい人生経験を聴かせて頂きました。運営推進会議ではご家族や地域の方から有難い意見を頂きました。看護小規模多機能型居宅介護は複合型施設なので、総合的にはすごく良い反面、通い機能ではデイサービス、泊まり機能ではショートステイ、訪問機能ではヘルパーステーション、ケアマネ機能では居宅介護支援事業所と単独サービス事業所と同じレベルでサービスができていない事を日々感じています。介護と看護がうまくかみ合い良いサービスができるように努力していきたいと思っておりますので、今後もご支援ご協力宜しくお願い致します。

「かんたき萌気コム・ソフィ&ナース」では介護スタッフが利用者様の安全を第一に考えながら日常生活の援助をし、それぞれの癖などを理解しながら対応しております。介護の中でスタッフの『目』が利用者様の食事の摂取状況や飲み込み状態、入浴介助時の皮膚の状態などチェックし、変化や異常を私たち看護師に報告してくれ、すぐに対応できます。そのため当初考えていた戸惑いも払拭されました。

又、訪問し在宅での様子を伺ったり、看護処置、療養指導を行うこともあります。「二期一会」を大切にし、利用者様により良い環境の場を提供できるように日々話し合いを積み重ねています。まだまだ成長段階の「かんたき萌気コム・ソフィ&ナース」です。宜しくお願い致します。

看護師
田邊 恭子

私は以前大学病院で、その後訪問看護師として働いておりました。この4月より「かんたき萌気コム・ソフィ&ナース」で勤務しております。介護現場の看護師として働くのは初めてで、どの様に介入して良いのか？など戸惑いがありました。



私は以前は老人ホームで働いていました。1年前の「かんたき萌気コム・ソフィ&ナース」開所時より勤務しています。施設経験しかなかったため、送迎介助は初めて行いました。朝起きるのが遅い人には遅い時間に送迎に出たり、家族の用事がある時は遅くに送ったり、体調が悪い人には看護師が付き添ったりなど日々の変化に対応しています。また、家族と日々顔を合わせ関りが持てるので、ご家族がご本人の事を大事にしていることが伝わってきてやりがいを感じる事ができます。

施設との違いを感じるのには、利用者さん個々の日課を大事にしてケアしており、散歩をしたり、夕食時に晩酌をしてみたり、通院介助、血糖値のチェックの見守り、などなど個別ケアを大事にしています。同じ利用者さんでも、今日は通いで来る日、午前中だけ利用、夕食まで食べて帰る、今日は泊まりに来る日、連泊中、帰る日、今日は家にいるから訪問してきて、などなど：で最初は自分が何をしたら良いか全くわからず戸惑ってばかりでした。最近はやっとな慣れてきて、利用者さんと楽しく話ができるようになり、毎日同じことを繰り返している施設とは違うやりがいを感じています。

職員も介護職と看護職の違いや介護職の中でも施設経験が長い人やデイサービス経験が長い人などなど考え方が様々でオムツの当て方、朝の起床してもらう時間など意見がぶつかる事も多くありました。1年が経ち、利用者さんとも職員ともご家族とも徐々に信頼関係が築けてきて少しずつ問題を解決していく事ができるようになっていきます。また診療所が併設されており、医療、看護が身近にある事で安心して働く事が出来ています。

介護士

佐藤 陽香





萌気会 2019年1年間のあゆみ

法人外・内イベント活動の紹介をします

【法人外】

1月12日(土)

NPO在宅ケアを支える診療所・
市民全国ネットワーク東京プレ大会(東京大学 安田講堂)
第3部未来を語る 座長:黒岩卓夫



5月26日(日)

社会福祉法人桐鈴会20周年記念セレモニー
挨拶:黒岩卓夫「桐鈴会今昔物語」
萌気会共催:有沢昱有展覧会5月25日～7月15日(池田記念美術館)

6月16日(日)

新潟いのちの物語をつむぐ会(浦佐普光寺)
基調講演:黒岩卓夫



6月22日(土)

魚沼地域摂食嚥下診療研究会(魚沼基幹病院)
講師:黒岩巖志

8月23日(金)

こどもへの支援のあり方研究会(湯沢学園)
講師:柿原敏夫、鈴木美智子

9月11日(水)

魚沼地域退院支援を考える会inUKB(魚沼基幹病院)
発起人:黒岩巖志

9月15日(土)・

16日(日)

NPO在宅ケアを支える診療所・市民全国ネットワーク
地域医療研究会合同大会in東京(平成帝京大学)
シンポジウム戦後医療史(若月俊一・長純一)地域医療の現在
演者:黒岩卓夫
実践交流会発表:阿部友恵、大谷靖子、川部伊佐夫、栗原哲也



9月25日(金)

南魚沼市健康推進員研修会(大和庁舎) ストレスとうまく付き合うセルフケア
講師:黒岩巖志

11月3日(日)

日本統合医療学会新潟県支部(NEXT21)
対談:帯津良一先生、黒岩卓夫



11月18日(水)

中学2年生喫煙予防教室(大和中学校)
講師:黒岩巖志

【法人内】

1月16日(水)

第4回リーダー研修(大和公民館)

1月～12月

びしゃもん茶房(月1回)(ほっと館)

2月1日(金)

いろりを囲む会(地蔵の湯)

3月28日(木)

こども園 創意あふれた卒園式

6月13日(木)

合同研究発表会(ふれ愛センター)

6月13日(木)

新人オリエンテーション(ふれ愛センター)

6月20日(木)

二日町診療所20周年・皆川医師勤続15年記念式(与六ぢゃ)

7月7日(日)

摂食嚥下勉強会(ふれ愛センター)

7月10日(水)・11日(木)

萌気会100年プロジェクトワークショップ(大和公民館)

8月10日(土)

もえぎ会夏まつり(二日町診療所敷地内)

12月4日(水)

医療法人生寿会へ訪問(名古屋)

12月9日(月)

生寿会より訪問 交流始まる

12月13日(金)

萌気会大忘年会(坂戸城)



【事件】

12月8日(日)

親子熊3頭二日町診療所床下倉庫にて発見 翌日捕獲

Let's 90 お出かけリハビリ

舞子高原ホテル ランチバイキング

萌気園通所リハビリセンター 浦佐 大谷 靖子



日頃のリハビリ成果を試すため、利用者27名、職員11名、総勢38名で「舞子高原ホテルランチバイキング」に行つてきました。この日は朝から大賑わい。歩く!! 笑う!! 食べる!! と忙しい一日となりました。

まずは、リハビリセンターに近い世界最大級麴工場「魚沼醸造」へ。麴入りソフトクリームのあまりのおいしさに舌を鳴らし、「重たいけどどうしよう」と悩みながら甘酒を買い(甘酒1リットルを4箱ですよ)、自分の荷物は自分で持ち歩かれていました。

そしてメインの「舞子高原ホテルランチバイキング」。ここでの主役は利用者みなさんです。乾杯のあいさつは石田榮子さん。本人・家族ともに歩く事を目標にリハビリセンターに通われています。(普段の生活は車いす使用) 大注目の中、担当リハ職(山田)のエスコートにより、ステージまで歩行器を使い緊張しながらも堂々と歩かれ

ました。声が出ないと本人は直前まで心配。「みなさんで楽しみましょう! 乾杯!」と発声して下さいました。



食事中の様子を見ると、厚みのある牛肉「ローストビーフ」を食べる食べる。大先輩に失礼ですが、年を取っても肉が食べれる、これが元気の源だと思えました。その他



にも、手作りウインナー・巻き寿司・カレーライス・スパニッシュオムレツ・ケーキ・アイスなど、一皿に好きな物全部のせ!! その量に大変驚きました。

グランドフィナーレは花笠音頭。女装をした男性職員登場。「誰だね?」「えー」「きれい」と反応は様々。みなさんが喜んで下さり、職員一同うれしく思います。



今年最後のお出かけリハビリは松之山温泉「ナステビュー湯の山」に4名で行つて来ました。

塩分のある温泉で、お肌はツルツル。雪がチラチラと降る露天風呂からの景色は最高と聞きました。

温泉施設内の端から端までの長い距離を杖を使い歩き、リハビリの成果を発揮することができました。



今年度のお出かけリハビリは、12月5日で全て終了しました。春のラームンの旅から始まり、最後松之山温泉まで12組出掛けました。また来年、みなさんで計画し楽しみましょう。それまでリハビリしっかりとね...



魚沼マルシェがやってくる

萌気園通所リハビリセンター浦佐

理学療法士 山田 春樹

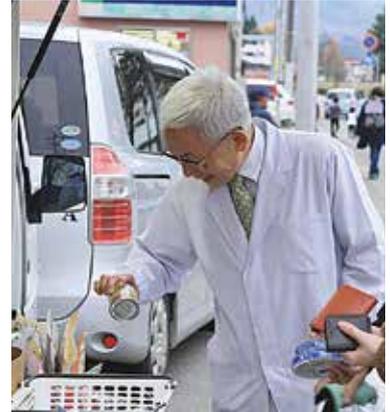
リハビリセンターでは常に新たな試みをしています。今回は「お試し企画 移動スーパー魚沼マルシェがやってくる」です。自分で外出が困難となった利用者様に自分で買い物をする喜びを感じてもらうことを目的として行いました。



結果は・・・皆さん大喜び!! 私たちが想像していた以上の盛況ぶり!!

「またやってね!」「もっとみたかったわ!」など楽しかった雰囲気うかがえる会話や笑顔が飛び交っていました。お試し企画で終わることなく、定期的な開催ができるよう関係各所と連携を取りながら進めていきます。

リハビリセンターではこれからも皆さんの笑顔を引き出せるような、企画やっちゃいます(^_^)乞うご期待!
※今回の企画は施設利用時間終了後に実施しました。



魚沼平野がまるで黄金の絨毯を敷きつめた様な美しい風景から、切り株だけが淋しく取り残された田園風景に姿を変えた頃、私達姉妹は「さくり温泉健康館」へ宿泊致しました。以前友人と何回か訪れた事はありませんでしたが、宿泊は初めての試みでした。

ぶことが出来、私は天麩羅の盛合わせを選びました。ところが登場した天麩羅にビックリ! 南瓜の天麩羅がアーチをえがき、その中に海老や野菜達が沢山並んでいて早く食べてと誇らしげに私を見つめていました。他に小鉢が何品か付きましたがどれも手が込んでいて、美味しく頂きました。それと丁度新米の時期でしたので、ご飯も美味し

宿泊料金が安いと云う事で決めさせて頂きましたが、宿泊してその魅力は料金だけではありませんでした。一泊二食つきで6,100円ですので正直あまり料理には期待はしていませんでしたが、とんでもありません。夕食はメインのおかずを自分で選ぶ

くて都内からきた妹は大喜びでした。お風呂も天然掛け流しで気持ち良かったし、それよりも何よりも働いているスタッフの皆さんが心温かく、笑顔で接してくださり本当に楽しい姉妹会を開催する事が出来ました。勿論来年も「さくり温泉健康館」で姉妹会をする事が決定致しました。スタッフの皆さんお世話になりました!
東泉田在住 T・N様より



スタッフの笑顔と心温まる接客に感謝! さくり温泉健康館を利用して

もえぎ新聞読者より嬉しい声が届きましたので、ご紹介します。





うちの利用者さん 萌気園浦佐住宅型老人ホーム ハイマートハイム・島田

利用者 阿部 稔 様

とても働きものの阿部さん、これまで道路やトンネルを作り、冬は除雪。休みの日には、田んぼに行っていたそうです。

先日ハイマートの避難訓練では、消火の作業等職員と一緒に行ってくださいました

「さすが、カッコイイですね」と職員が話すと「何を～今さら」と笑顔で照れ笑いされる阿部さんでした。

またヘアカットと眉を整えられた時には「素敵です」というと「何も出ねえぞお」と楽しい一面を見せてくださいました。

これまで、一生懸命に働いて来られた阿部さん。優しい笑顔と楽しい一面、これからもお仕事されていた時のお話沢山聞かせていただけると嬉しいです



2019 年度 資格習得者の声

働きながら資格を取得した方々です。



介護支援専門員
地蔵の湯
目黒 民子

勉強した知識が無駄にならないようにしたいです。「継続は力なり」を信じて、これからも努力を積んでいきます。



介護福祉士
リハビリセンター浦佐
大平 房子

実務者研修からの国家試験。一年を通しての学習はなかなか大変ですが、終わってしまうと寂しい気持ちです。



介護福祉士
リゾートあぜ地
上村 恵美子

念願の資格を取得することができました。自分のできる範囲で頑張っていきたいと思っています。



介護福祉士
浦佐ヘルプステーション
佐藤 あさみ

久々に勉強したので大変でした。これからも頑張ります。



介護福祉士
浦佐診療所
井上 真由美

学んだことを力にして、自信を持ってこれからも成長していきます。



介護福祉士
地蔵の湯
櫻井 未来

日常の業務で活かしていきたいように頑張ります。



社会福祉主事
地蔵の湯
佐藤 泰規

約一年をかけて資格を取得しました。学んだことを今後の日常業務にも活かしていきたいです。



すみれ草の風景 三途の川?



老人ホームすみれ草では、認知症予防の効果がある手作業をみんまで行っています。塗り絵や貼り絵、稲わらづくりを行ってきました。その一環として、今回はオブリエづくりに挑戦しました。なんと製作期間6ヶ月もかかった大作です。題は何とこのか尋ねましたが、「そんなもんわかるかい」との答えが返ってきました。



職員が「じゃあ、春の風景にしましょう」と話しました。そんな会話に他の利用者さんが入ってきました。「これは三途の川かい?」と声を上げました。「これは三途の川だ」と題名が決まりました。「三途の川はこんなにきれいなのかい?」「行った事ねえからわからねえな」「花が咲いているなら行ってみてえな」と三途の川トークで盛り上がりました。



年末年始の診療日程のお知らせ

二日町診療所 ☎025-778-0088
年中無休

	12/30 (月)	12/31 (火)	1/1 (水)	1/2 (木)	1/3 (金)	1/4 (土)
午前	○	○	○	○	○	○
午後	×	×	×	×	×	×

浦佐診療所 ☎025-777-5222

	12/30 (月)	12/31 (火)	1/1 (水)	1/2 (木)	1/3 (金)	1/4 (土)
午前	○	×	×	×	×	×
午後	×	×	×	×	×	×

※診療科目・時間については、診療医師予定表をご確認ください。



編集後記

萌気園大和通所介護「地蔵の湯」 岡村 あけみ

雪が積もり一面真っ白になった外を見て「フゥ～」とため息をつく私。同じ景色を見て「サンタさんが来る準備をしているんじゃない?」と言った子供。その言葉を聞いて目からうろこ。「そうだ・・・これからはポジティブに物事を考えるようにしましょう」と反省。今年を振り返ってみると、大雨や猛

暑、台風など自然の力の凄さを実感した一年でした。また、平成が終わり令和という新しい時代の幕開けの年でもありました。今年も残りあと数週間となりました。段々と寒さが増してきますが体調を崩さず新年をお迎えください。来年も良い一年になりますように。



12月8・9日 二日町診療所敷地内で発見された熊の捕獲について

テレビ、新聞等の報道でみなさんご存じかと思いますが、12月8日に二日町診療所敷地内で発見された熊についてお知らせします。

患者様、利用者様、職員にけがもなく、また市役所、猟友会、警察など捕獲の関係者にも負傷がなく無事でありました。

8日は10時ごろから診療やデイサービスの中止の段取りを進め、9日は熊の確保まで診療やデイサー

ビスを休止させていただきました。

患者様、利用者様、地域の皆様、お取引先様にはご迷惑、ご心配をおかけしました。

また、皆様よりあたたかい声をいただき大変ありがとうございました。

*熊は動物愛護団体に引き渡され、今後山に放たれる予定です。

医療法人社団萌気会 事務局長 荒井 紀洋